

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上	写真・後藤
山行NO	1875	
日時	2020年7月19日(日) 晴れ・暑い	
山域	富士山・宝永2352m峰(須山口登山道バリエーション)	
コース	長泉8:00-駐車場1384m 発9:07-宝永山2352m峰頂上12:16-御殿庭上(昼食) 12:35-下山開始13:18-幕岩下沢(仮称)橋1350m14:57-駐車場着1384m13:11- 合谷さん宅ガレージにて直会-長泉	
累計標高差	上り	駐車場1384m~2352m峰+幕岩下沢橋1340m~駐車場1384m=約1012m
	下り	同上
藪漕度	上り	シラビソ(白檜曾)・コメツガ(米楯)・トウヒ(唐檜)のヤブあり
	下り	なし
難易度	非常に困難	困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい
<b>新ルートは幻想的</b>		
参加者	後藤、加藤、井上=3名	

まだ梅雨明けしていないが、今日は前線が南に下がり、山では降らないとみて決行。長泉を出るときは結構雨が降っていたので中止かと思ったが、御殿場に入ると雨は上がっており、富士山を正面に見る米軍キャンプ辺りではもうすっかり晴れていた。天気JPは正確。

なぜか自衛隊の特殊な車両や装甲車がかなりの数で下りてくる。非公開の火力演習でもあるのか。この地点では、どこから登るか決まっていなかった。いつもの沢と水ヶ塚の間の初めての尾根を狙うようだ。登れそうな場所と駐車できる場所を探して東に向かうが、水ヶ塚近くまで来てしまってもUターンする。(注・1)



取りつきに向かう

この時道路の中央に赤いゴムのポールがあるのに気づかずぶつかったが、ゴムがぐにやりと曲が

る感触だけで車に傷はつかないようだ。加藤さんの長年の気がかりだったらしく、ぶつかっても大丈夫なことが確認できて喜んでた。少し戻って、車の止められそうなところを探し駐車した。幕岩下沢（仮称）橋より少しだけ標高は高い。後で確かめると 34m高かった。支度をして山に入る。道らしきものを緩やかに登る。踏みあとは見当たらない。頭上の木々の緑と、地上のコケに囲まれて周りは緑一色。空気は涼しくきもちよい。

鳥のさえずり、蝉の声と、目に耳に自然のど真ん中を感じる。1ヶ月ぶりの登山に体が喜んでいよう。加藤さんのいつものスマホアプリは電波がうまく入らず現在地がよくわからない。今日は後藤さんのGPSもなし。エアリアマップと、後藤さんと加藤さんの豊富な経験から現在地を推定する。ミステリーツアーだ。



南山林道とあった



「須山口登山道」

おそらく、須山口登山歩道のあたりを登っているようだ。今回知ったのだが、普通須山口登山道と呼んでいるのは須山口下山道のことのような。（注・2）上り始めて10分の場所に「南山林

道分岐」の看板があった。東は須山下山道・お胎内、西は水ヶ塚とあった。直進の表記はなかったが、薄っすらと踏み跡はあった。これを進む。

看板から30分で幕岩から水ヶ塚登山道を結ぶ横断道に出た。他の登山者の声が聞こえた。この横断道から上は「須山登山道」の踏み跡はハッキリしなかった。ここから「勘」で進む。



バイケイソウ

バイケイソウが花をつけ乱立している。においがきつく、毒もあるため鹿は食べないそうだ。(注・3) 倒木の森があった。以前、いつもの沢の西にも倒木が多い場所があった。同じエリアだろうか。

1時間ほど歩いたころ、それほど急ではないところの倒木で後藤さんが足を引っかけ地面に手をついた。その時、左手のひらを切ってしまった。今日に限って共同装備の救急セットを持ってこなかった。加藤さんの荷物からアルコール消毒綿と絆創膏を出して応急処置をした。私の軍手でネットの代わりとした。しかし、次第に軍手は真っ赤に染まっていくのであった(オーバーに表現)。

(注・4)



倒木帯



藪尾根



ここまでわざわざ付に来たのか

倒木地を過ぎると東に坊主山が見えた。この辺りで坊主山は、三辻西の尾根に二か所ある。何処の坊主山か推測したが結果的にKさんがビンゴだった。このピークは、・ 11913m 峰。

道なき道を進む。途中シラビソのヤブ漕ぎがあったが、決して歩きにくいほどではなく、すいすいと進んだ。汗はサウナにいるように落ちる。空気は涼しいが、運動で汗が絞り出される。1980mの一般道に出て、少し下るがその道を西に向かい水ヶ塚登山道分岐に出る。そこには黄色の立ち入り禁止のテープと新しい看板があった。上り方向にもテープはあるが切られていた。

樹林帯を超えると砂地になり、高度もあり、実は私の苦手な場所でもある。後で聞くと、こういう砂地は足をザクッと差し込むと滑らず歩きやすいとのこと。後藤さんが歩き方のアドバイスをするのは珍しい。12:35、2352m峰到着。少し上に年配の男女2人がいた。とっくに12時を過ぎておなかすいたのでさっさと下り、昼休憩によいいつもの御殿庭上の2030mの場所に到着、12:35。

ここで昼食にする。2本のビールは何の抵抗もなく消えていった。



富士山は素晴らしい



昼食



シモツケ



アサギマダラ



ムラサキモメンツル

13:18 下山スタート。花を愛でながら下る。幕岩下のウノハナにアサギマダラが舞い、蜜を吸う。幕岩下沢橋に到着、14:57。ここから駐車した場所まで道路を歩く。通りすぎるバイクに手を振ると返してくれるので面白かった。13:11、駐車した場所に戻る。これで登りの時間は累計3時間23分になる。この後、裾野千福の合谷さん宅ガレージで夏山合宿打ち合わせと直来をさせてもらい長泉に帰った。

今回、教えてもらった植物、花の名前。バイケイソウ（梅蕙草）、ミヤマオトコヨモギ（深山男蓬）、イワツメクサ（岩爪草）、フジハタザオ（富士旗竿）、イワオウギ？（岩扇）、タイツリオウギ？

(鯛釣黄耆)、ウノハナ (卵の花またはウツギ (空木))、シモツケ (下野)、フウチソウ (風知草)、ムラサキモメンヅル (紫木綿蔓)、オンタデ (御蓼)、メイゲツソウ (名月草)。花がいっぱいでした。

#### その他の記述 (後藤)

- 注・1 本当は、御殿庭東の沢を詰めたかったが、周遊道まで押し出しがなかった。
- 注・2 昭和43年発行の富士山2万5千図では、「須山口道」(登山・下山でなく)は、お胎内までしか表記がない。現在の水ヶ塚からの道も表記がない。現在の登山・下山道は、1996～9年に掛けて整備された。
- 注・3 以前、南ALPSでバイケイソウの「新芽」だけ食べた跡を見た。「新芽」は、毒がないか薄いのかも知れない。
- 注・4 この日は、何故か足がよく「引っ掛った」。いよいよ歳か??!!



直会



富士山・宝永山2352m峰データランド（標高差1340m～2352m＝1012m）

2020.07.03

\*このデータは、標高差1000m以上の特定山域登山状況を比較して、体力・技術・総合力をはかるものです。

	年齢	幕岩下沢橋発	2352m峰	上り時間	備考
2020.07.19（日・晴れ・暑い） 3名	73歳5月	9:05	12:30	3時間25分	*新ルート、藪漕ぎあり
2020.07.02（木・快晴・爽やか） 2名	73歳5月	9:33	12:36	3時間03分	*涼しくて快適だった
2020.05.02（土・快晴・寒い） 4名	73歳3月	7:56	11:26	3時間30分	*御殿庭から水ヶ塚コース
2019.10.05（土・快晴・涼し） 5名	72歳8月	7:18	11:30	4時間12分	*上りキノコ採り時間あり
2019.07.06（土・曇り） 4名	72歳5月	7:08	10:44	3時間36分	*歩荷訓練・荷物あり
2018.10.21（日）					
2018.09.06（木）					
2017.11.26（日・快晴・強風） 1名	70歳9月	6:33	9:55	3時間23分	*単独
2017.08.26（土） 3名					
2017.08.20（日・曇り） 3名	70歳6月	7:18	10:20	3時間2分	*
2016.11.20（日・晴・高温） 1名	69歳9月	9:31	12:21	2時間50分	*単独・初見